

環境の変化のしっかりとした対応を

第 58 回通常総会を開催

組合の第 58 回通常総会が 5 月 14 日、大阪市北区のリーガロイヤルホテル大阪で開催され、新年度の事業計画・収支予算案などが承認されました。

総会には正会員、賛助会員合わせて約 80 人が出席。冒頭で挨拶した岩田理事長は、まず今年 2 月に訪問した米国ニューヨークのユニオン視察について「技能者の教育システムが高度で、品質や技量に対する評価もしっかりしていると感じた。我々もこうした仕組みを日本に合った形で取り入れ、次の世代が安心して入ってきてくれる業界にしなければならない」と指摘。また、建設キャリアアップシステムの本価格運用など「ここにきて、職人を取り巻く環境が一気に変わろうとしている。我々もこうした環境の変化にしっかりと対応し、次の世代のために共に頑張っていこう」と呼びかけて挨拶を締めくくりました。

新年度の事業計画では▽外国人技能実習生受入れ事業▽技能検定試験・登録基幹技能者講習▽合同出前講座の開催▽建設技術展 2019 近畿への出展▽各種団体との交流・連携一などが実施されます。

会員数の増強を

青年部が第 27 回総会を開催

組合青年部（田中毅部長、11 名）の第 27 回総会が親会の総会に先立って行われ、新年度の事業計画・収支予算案などが承認されました。主な事業として、11 月に金沢市で開催される全鉄筋青年部全国連絡会議への参加に向けた取り組みのほか、情報交換会などを計画しています。

また、親会の総会で挨拶した田中部長は「年々青年部の会員が減少している。青年部だから話せることもあり、横のつながりを強めて親組合の活動に協力していきたい。そのためにも積極的に参加してほしい」と会員の増強を呼びかけました。



青年部総会

